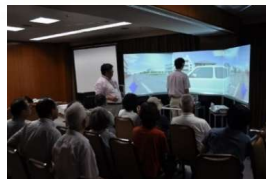


さいたま市 セーフコミュニティ通信

国際認証内定！！

Vol.25



交通安全教室



審査員コメントの様子



7月24日、25日の現地審査の結果、※セーフコミュニティの国際認証内定を受けることができました。国内では16番目、政令指定都市全域では初めてのことです。
※セーフコミュニティとは事故やケガのデータを分析し、市民団体や企業、警察、市などで連携して、改善のための取組を行い、市民が安全に安心して暮らせるまちづくりを進めることです。
現地審査の結果報告 国際認証取得のため、2名の外国の認証審査員を招へいし、取組状況等を報告しました。その後、対策委員会ごとにアドバイスをいただきました。

7月24日 自殺予防

- ・取組を行ったか経緯について、客観的な情報を提示し、説明していた
- ・ゲートキーパー研修以外の、例えば駅のホームドア等の環境へのアプローチを検討してはどうか
- ・チラシの配布について、若者の自殺が増える時期を分析し、配布時期を検討してはどうか

7月24日 子どもの安全

- ・市の既存の取組とうまく連携できている
- ・忙しい保護者へ簡潔に情報を伝えることも必要である
- ・妊婦へのアプローチも検討してはどうか

7月25日 自転車の安全

- ・自転車乗車時のヘルメット着用を推進する必要がある
- ・取組対象を自転車だけでは限界があるため、交通安全全体へ視野を広げる必要がある
- ・セーフスクールと協力して取組を進めていることは、とても良いことである

7月25日 高齢者の安全

- ・転倒は様々な要因により発生するため、一つの取組だけではなく色々な取組を組合わせて行う方がより効果的である
- ・自宅の高齢者虐待に、外部の方が速やかに認識できる仕組みが必要である
- ・リーフレットには安全な環境を作り上げる内容が書いてあり、皆が取り組みやすい

7月25日 DV防止

- ・しっかりとデータを活用して、現状を把握し、取り組んでいる
- ・世界のDV防止の取組事例を参考に取組をステップアップさせてほしい
- ・全国より高い数字のデータをどう読み解くか考えることも大事である

7月25日 審査員講評

- ・対策委員会等に様々な組織が携わり、地域の協働が確保されている
- ・対策委員会は多くのNPOが携わり、他自治体への大きなモデルとなる
- ・成果把握の指標を設定し、市民の意識がどれだけ変わったか把握している
- ・今後、いかに継続していくか、認証後のビジョンを描いていただきたい
- ・今後、新たな対策委員会も検討していただきたい

国際認証式典を開催します！！

セーフコミュニティの国際認証を広く周知するため、記念式典を開催します。対策委員会の3年に及ぶ活動が認められました。ささやかな記念品の配布も行います。ぜひご覧ください。

日時 11月20日（水）15時から16時45分

場所 コルソホール さいたま市浦和区高砂1-12-1 コミュニティプラザ・コルソ7階

内容 セーフコミュニティの活動報告、対策委員への感謝状贈呈、消防音楽隊の演奏会など

※参加方法につきましては、さいたま市報11月号をご確認ください



コルソホール



当日、消防音楽隊の演奏会
も同時開催します